28年 国語 (33)

群馬県

1	٠	,
۰.	×	
/	٠	`

も仕方がないだろう。 ない植物や微生物より、

しかし、本当に、植物には知能が

達しなかったといわれている。このようにいわれれば、

一次の文章を読んで、後の()~田の問いに答えなさい。 ところが、動物は、自分が生いったいう気がしていたからであり、そして、学校でも、人類が最も立派な脳を持っていたからであり、そして、学校でも、人類が最も立派な脳を持っていたからであり、そして、学校でも、人類が最も立派な脳を持っていたからであり、そして、学校でも、人類が最も立派な脳を持っていたからであり、そして、学校でも、人類が最も立派な脳を持っていたからであり、そして、学校でも、人類が最も立派な脳を持っていたからであり、そして、学校でも、人類が最も立派な脳を持っていたからであり、そして、学校でも、人類が最も立派な脳を持っていたからであり、そして、その結果、知能を発達させたからだ、と教わった。その結果、知能を発達させたからだ、と教わった。その結果、知能を発達させたからだ、と教わった。その結果、知能を発達させたからだ、と教わった。その結果、知能を発達させたからだ、と教わった。その結果、知能を発達させたからだ、と教わった。その結果、知能を発達させたからだ、と教わった。その結果、知能を発達させたからど、していたからであり、そして、その結果、知能を発達させたからだ、と教わった。その結果、知能を発達させたからど、と教わった。その結果、知能を発達させたからど、と教わった。その結果、知能を発達させたからど、と教わったのである。したがったのである。人類がないから、植物、動やとのの知能のような「処世術」的、一般的に、知能は獲物を追ったり、配偶者を求めて動きまわる動ための知能のような「処世術」的、自然生態系の中で、生物類のかといえば、私は小さい頃からにある。したがったのである。したがった。その結果、知能を発達さいるのである。したがった。その結果、知能を発達さいうう、植物は自ら認識がした。その結果、知能を発言ったり、配物ないから、植物は自ら認識の行動がという。その結果、知能を発言ったり、配物ないから、植物は自ら認識が見ていた。その結果、知能を発達させたからだ、と教わった。その結果、知能を発言ったり、配体がたのである。したがった。その結果、知能を発言ったり、配体がたのである。したがった。その結果、知能を発言ったの、ための知能のようなものを発達した。その結果、知能を発言ったの、ための知能のようなものを発達したから、他物、動物には、常に意識的行動が必ら、たや、かか、このである。したがっかんいから、他物が持っている、その結果、知能を発言ったの、ための知能のようないから、他物ないか。ころん、他物ないか。そのためのかかたのである。したがったのである。したがったのである。したかったのである。したかうかいかいから、他物ないから、他物ないから、他物ないから、他物ないから、他物ないから、他物ないから、他物ないから、他物ないから、他物ないかのである。いかかいから、他物ないから、他物ないから、他物ないから、他物ないから、他物ないかか。ころんいから、他物ないから、他物ないから、他物ないから、他物ないから、他物ないから、他物ないから、他物ないから、他物ないから、他物ないから、他物ないから、他物ないかか。こかかかいかかかかかかかかかかいかかいかかかいかかかいかかいかかかいかか		具体的にはブドウ糖と酸素を生産できる。つまり、植物は〝独立栄養
 一次の文章を読んで、後の()~(1)の問いに答えなさい。 ところが、動物は、自分が生いろう、種物が「知能し獲物を追ったり、配偶者を求めて動きまわる動 「一般的に、知能は獲物を追ったり、配偶者を求めて動きまわる動 「一般的に、知能は獲物を追ったり、配偶者を求めて動きまわる動 「一般的に、知能は獲物を追ったり、配偶者を求めて動きまわる動 「一般的に、知能は獲物を追ったり、配偶者を求めて動きまわる動 「一般的に、知能は獲物を追ったり、配偶者を求めて動きまわる動 「一般的に、知能は獲物を追ったり、配偶者を求めて動きまわる動 「一般的に、知能は獲物を追ったり、配偶者を求めて動きまわる動 「一般的に、知能は獲物を追ったり、配偶者を求めて動きまわるのである。したがっこ 「一般的に、知能は獲物を追ったり、配偶者を求めて動きまわる動 「自然生態系」の中で、生物類の知能のような「処世術」的、一般的に、知能は獲物を追ったり、配偶者を求めて動きまわるのである。したがっこ 「一般的に、知能を発達させたからだ、と教わった。そ した、大きく植物類、動物類、そして微生物類(菌類) 「ための知能のような「処世術」的、一般のには、常に意識的行動が必ら、植物が「知能」を持っている。 「一般的に、知能を発達させたからだ、と教わった。そ したがったのである。したがっこ 「かといえば、人類が最も立派な脳を持っていたからであり、そし 「かといえば、人類が最も立派な脳を持っていたからであり、そし 「中心」ところが、動物は、自分が生)、 「日気を求めて動きまわる動 自然生態系の中で、生物類の 「ないから」、植物は自ら調査 「ための知能のような「処世術」(自)」 「か」 「日気を強いから」、 「日気を求め」 「ための知能のような「処世術」(自)」 「ための知能のような「処世術」(自)」 「ための知能のような「処世術」(1)」 「日気を求め」 「ための知能のような「処世術」(1)」 「ための知能のような「処世術」(1)」 「日気を求め」 「ための知能のような「処世術」(1)」 「ための知能のような「処世術」(1)」 「日気を読みのである。 「日気を読みのである。 「日気を求め」 「日気を求め」 「日気がないから」 「日気を求め」 「日気がないから」 「日気がないか」 「		生物〟であり、「他者」の「世話」にならずに生きていけるのである。
 やれわれん類を[®]含む地球上のすべての生物は、自然生態系、の中で生産することができず、食物、 やたけに発達した特性であり、自ら移動できない植物には知能が発 を物には一個体だけの、孤独な生活、というのはあり得ず、周囲の ための中では、多和ったような気がする。人類がなぜ一番「偉い」という気がしていた。そして、学校でも、人類が最も立派な脳を持っていたからであり、そして、学校でも、人類が最も立派な脳を持っていたからであり、そして、学校でも、人類が最も立派な脳を持っていたからであり、そして、学校でも、人類が最も立派な脳を持っていたからであり、そして、学校でも、人類が最も立派な脳を持っていたからであり、そして、学校でも、人類が最も立派な脳を持っていたからであり、そして、学校でも、人類が最も立派な脳を持っていたからであり、そして、学校でも、人類が最も立派な脳を持っていたからであり、そして、学校でも、人類が最も立派な脳を持っていたからであり、そして、学校でも、人類が最も立派な脳を持っていたからであり、そしたがつ、 ための知能のような気がする。人類がなぜ一番「偉い」生きものである、ための知能のような気がする。したがつ、 ための知能のような「処世術」的: ための知能のような「処世術」的: ための知能のような「処世術」的: ための知能のような「処世術」的: ための知能のような「処世術」的: ための知能のような「処世術」的: ための知能のような「処世術」的: ための知能のような「処世術」的: ための知能のような「処世術」的: ための知能のような「処世術」の: ための知能のような「処世術」の: たがっている: ための知能のような「処世術」の: たがっている: ための知能のような「処世術」の: ための知能のような「処世術」の: たからだ、と教わった。 ための知能のような「処世術」の: たからだ、ためい」のである。 ための知能のような「処世術」の: ための知能のような「処世術」の: たがっているのである。 ための知能のような「処世術」の: ための知能のような「処世術」の: ための知能のような「処世術」の: たからど、と教わった。 ための知能のような「処世術」の: たがい」のである。 ためのである。 たがっ ためののである。 ための知能のような「処世術」の: たからど、と教わった。 ためのである。 たからど、と教わった。 ための知能のような「処世術」の: ためののである。 たからど、 たからど、 たからど、 たからど、 たからど、 たからび、 たかったのである。 ためのである。 たからど、 たからど、 たからど、 たからど、 たからど、 たかったのである。 たからいうが、 たからど、 たからいからいうが、 たかいからいうが、 たからいからいうかいからいうからいからいうからいからいからいうからいからいうからいかかいうからいからいうからいからいうからいからいからいうからいからいうからいかかいからいうかいからいうからいかっかっかいうかいうかった。 たかいからいうかかいからいからいかっかいからいからいからいからいからいうかいかっかっかいからいかっかいからいからいうかいうかかいかっかいかっかっかいかっかいうかいかっかっかっかいかいからいうかかいかっかいかっかっかいかっかっかっかっかっかっかっかっかっかっかっかっか		
 「物だけに発達した特性であり、自ら移動できない植物には知能が発 物、微生物の中では、動物が一番「偉い」というのはあり得ず、周囲の 「一般的に、知能は獲物を追ったり、配偶者を求めて動きまわる動 「一般的に、知能は獲物を追ったり、配偶者を求めて動きまわる動 「一般的に、知能は獲物を追ったり、配偶者を求めて動きまわる動 「かといえば、人類が最もシンカした一番「偉い」生きものであ る、と教わったような気がする。人類がなぜ一番「偉い」生きものであ る、と教わったような気がする。人類がなぜ一番「偉い」生きものであ る、と教わったような気がする。人類がなぜ一番「偉い」生きものであ もちろん、植物が「知能」を持っていた。そ して、学校でも、人類が最もシンカした一番「偉い」生きものであ る、と教わったような気がする。人類がなぜ一番「偉い」生きものであ ための知能のようなものを発達 たしたがらだ、と教わった。そ 「一般的に、知能は獲物を追ったり、配偶者を求めて動きまわる動 「一般のに、知能は獲物を追ったり、配偶者を求めて動きまわる動 「白松花いから」、植物は「られ」 を持っている。 「日本、「「「」」」 「日本、「「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」 「」」」 「」」 「」」<td></td><td>で生産することができず、食物を植物や他の動物に依存しなければな</td>		で生産することができず、食物を植物や他の動物に依存しなければな
物だけに発達した特性であり、自ら移動できない植物には知能が発 植物類は、生産者、動物類は *生産者、動物類は 物だけに発達した特性であり、自ら移動できない植物には知能が発 植物類に、力類が最も立派な脳を持っていたからであり、そして一般的に、知能は獲物を追ったり、配偶者を求めて動きまわる動 かといえば、人類が最も立派な脳を持っていたからであり、そして一般的に、知能は獲物を追ったり、配偶者を求めて動きまわる動 かといえば、人類が最も立派な脳を持っていたからであり、そして、学校でも、人類が最もシンカした一番「偉い」生きものであ る、と教わったような気がする。人類がなぜ一番「偉い」生きものであ れば、植物が「知能」を持っているで して、学校でも、人類が最もシンカした一番「偉い」生きものであ れば、植物が「知能」を持っているで して、学校でも、人類が最もシンカした一番「偉い」生きものであ れば、植物が「知能」を持っているで して、学校でも、人類が最もシンカした一番「偉い」生きものであ れば、植物が「知能」を持っているで して、学校でも、人類が最もシンカした一番「偉い」生きものであ れば、植物が「知能」を持っているで して、その結果、知能を発達させたからだ、と教わった。 もちろん、植物が「知能」を持っているで ための知能のような「処世術」的別 必要がないから」、植物は自ら製 ための知能のような「処世術」的別 という気がしていた。そ もちろん、植物が「知能」を持っているで れば、植物が「知能」を持っているで ための知能のような「処世術」的別 がといえば、「個本だけの」を見つけるために動きまわらな、 たがったいるである。」 たがったのである。したがって ための知能のような「処世術」的 のの知能のようなものである。 ための知能のようなものを発達と れば、植物が「知能」を持っているで ための知能のようなものである。 ための知能のようなものを発達と れば、植物が「知能」を持っているで れば、植物が「知能」を持っているで ための知能のようなものである。 たがったのである。 たがったのである。 たがったいるで ための知能のような「処世術」 の ための知能のような、 ための知能のようなものを発達か ための知能のようなものを発達かった。 ための知能のようなものを発達かった。 ための知能のようなものを発達かった。 ための知能のようなに たからた、と教わった。 ための知能のような「処世術」 ための ためのためのである。 たがっているで たからた。 たかった。 ための たかったのである。 たがっているのである。 たがっているの たかった。 たかった。 たかった。 たかった。 たかった。 たかった。 たかった。 たかった。 たからた。 たからた。 たかった。 たからた。 たからた。 たからた。 たからた。 たから、 たからた。 たからた。 たからた。 たからた。 たからた。 たから たか。 たか。 たか。 たか。 たか。 たか。 たか。 たか。 たか。 たか。	で生きている。	
 物だけに発達した特性であり、自ら移動できない植物には知能が発 物気は、生きているのである。 したがったのである。 ための知能のような「処世術」の知能のような「処世術」の知能のようなものを発達としたがったのである。 ための知能のような「処世術」の知能のような「処世術」の知能のような「処世術」の知能のような「処世術」の知能のような「処世術」の知識のようなものを発達というた。 ための知能のような「処世術」の知識のようなものを発達と認識、 ための知能のような「処世術」の知識のようなものを発達というた。 ための知能のような「処世術」の知識のようなものを発達というた。 ための知能のような「処世術」の知識のようなものを発達したがらだ、と教わった。 ための知能のようなものを発達したがって、その結果、知能を発達させたからだ、と教わった。 ための知能のような「処世術」の知識のような「処世術」の知識のためのである。 たがの知能のような「処世術」の知識のには、常に意識的行動が必要が必要がないから」、 ための一番「ない」のではなく、生きているない」のではなく、生きているい。 ための知能のような「処世術」の知識のようなものを発達したがったのである。 ための知能のようなものを発達したがった。 ための知能のようない」のではなく、生きているの たがっているのである。 たがっているのである。 たがっているのである。 たがらであり、 たがらが、 ための知能のようなものを発達したがらであり、 たがらであり、 たがらである。 たがらであり、 たがらかからか、 たがらかかったのである。 たがらずる。 たがないから、 たがらずる。 たがないから、 たがする。 たがらずる。 たがらずる。 たがらずる。 たがらずる。 たがする。 たがからずる。 たがらずる。 たがるのが持っているのである。 たがるのが持っているのである。 たがるのが持っているのである。 たがするのがらかる。 たがするのが、 たがするのがたのかる。 たがかがり、 たがるのが持っているのである。 たがるののかかかるののかからかる。	には一個体だけの〝孤独な生活〟というのはあり得ず、周囲	
 物だけに発達した特性であり、自ら移動できない植物には知能が発 物だけに発達した特性であり、自ら移動できない植物には知能が発 物だけに発達した特性であり、自ら移動できない植物には知能が発 物だけに発達した特性であり、自ら移動できない植物には知能が発 物だけに発達した特性であり、自ら移動できない植物には知能が発 物だけに発達した特性であり、自ら移動できない植物には知能が発 物だけに発達した特性であり、自ら移動できない植物には知能が発 (本) (x) (x)<td></td><td>動物との衝突や摩擦が避けられない。つまり、従属栄養生物〟である</td>		動物との衝突や摩擦が避けられない。つまり、従属栄養生物〟である
物だけに発達した特性であり、自ら移動できない植物には知能が発 植物類は、生産者(、動物類は のといえば、人類が最も立派な脳を持っていたからであり、そし いといえば、人類が最も立派な脳を持っていたからであり、そして、学校でも、人類が最もシンカした一番「偉い」という気がしていた。そ いといえば、人類が最も立派な脳を持っていたからであり、そして、学校でも、人類が最もシンカした一番「偉い」生きものであ る、と教わったような気がする。人類がなぜ一番「偉く」なったの かといえば、人類が最も立派な脳を持っていたからであり、そして、学校でも、人類が最もシンカした一番「偉い」生きものであ れば、植物が「知能」を持っている ための知能のような「処世術」的知 や要がないから)、植物は自ら たいって と教わったような気がする。したがって ための知能のような「処世術」 のではなく、生きてい やだけに発達した特性であり、自ら移動できない植物を追ったり、配偶者を求めて動きまわる動 かといえば、人類が最も立派な脳を持っていたからであり、そして、学校でも、人類が最も立派な脳を持っていたからであり、そし ための知能のような「の世術」のである。 できない」のではなく、生きてい やの知能のような「如能」を持っている いたがったのである。 と教わったような気がする。したがって ための知能のような「如他が「知能」を持っている ないから」、植物は自ら たかったのである。 と教わったようない」のではなく、生きてい やの知能のような「の世術」の やの知能のような「のである。 ための知能のような「の世術」 のである。 と教わったと。 ための知能のようなのである。 と教わったのである。 ための知能のようなである。 たがっている ないから」、植物は自ら たがって ための知能のようなしたがったのである。 たがって ための知能のようなしたがったのである。 たがって ための知能のようなしたがって たかって ための知能のようなしたがったのである。 たがって ための知能のようなものである。 とがって ための知能のようなものである。 とがって たかったのである。 たがって ためのかったのである。 たがって たかったのである。 たがって たかったのである。 たがって たかったのである。 たがって たかったのである。 たがって たかったのである。 たがって たかったのである。 たがって たかったのである。 たがって たかったのである。 たがって たかったのである。 たかったのである。 たがって たかったのである。 たがって たかったのである。 たがって たかったのである。 たがったのである。 たがって たかったのである。 たがって たかったのである。 たかったのである。 たかったのである。 たがって たかったのである。 たかったのである。 たがったので たかったのである。 たがったのである。 たがって たかったのである。 たかったので たかったので たかったので たかったので たかったので たかったので たかったので たかったので たかったので たかったので たかったので たかったので たかったので たかったので たかったので たかったので たかったので たかったので たかったので たかっためので たかったので たかったので たかったので たかっため ので たかる たかったので たかっため たかったので たかったので たかっため たかっため たかったので たかったの たかっため たかっため たかっため たかったの たかった たかったの たかっため たかった たかったの たかった たかった たかった たかったか たかった たかった		、常に意識的行動が必要であり、生存のためには、感覚、
 物だけに発達した特性であり、自ら移動できない植物には知能が発 物だけに発達した特性であり、自ら移動できない植物に見ると、大きく植物類、動物が一番「偉い」という気がしていた。そ へンな話ではあるのだが、私は小さい頃から何となく、植物、動 へンな話ではあるのだが、私は小さい頃から何となく、植物、動 へンな話ではあるのだが、私は小さい頃から何となく、植物、動 ための知能のような「処世術」的知能のような「処世術」のではなく、生きていいた。 て、その結果、知能を発達させたからだ、と教わった。 て、その結果、知能を発達させたからだ、と教わった。 て、その結果、知能を発達させたからだ、と教わった。 ための知能のような「処世術」的知能のような「処世術」のではなく、生きていた。 ための知能のようなものを発達する。 かといえば、人類が最も立派な脳を持っていたからであり、そして微生物類(菌類) ための知能のような「処世術」的知能のようなものを発達する。 ための知能のような「処世術」のではなく、生きているにのたのである。 ための知能のようなものを発達する。 ための知能のような「処世術」のではなく、生きているながったのである。 	およそ四十億年前の原始生命	反応のための神経系と認識、
 物だけに発達した特性であり、自ら移動できない植物には知能が発 物だけに発達した特性であり、配偶者を求めて動きまわる動 へンな話ではあるのだが、私は小さい頃から何となく、植物、動 へンな話ではあるのだが、私は小さい頃から何となく、植物、動 へンな話ではあるのだが、私は小さい頃から何となく、植物、動 ための知能のような「処世術」的知能のような気がする。人類がなぜ一番「偉く」なったの なったの 物の知能のような「処世術」的知能のような「処世術」的知能のに、知能は獲物を追ったり、配偶者を求めて動きまわる動 に分類される。 「般的に、知能は獲物を追ったり、配偶者を求めて動きまわる動 ための知能のようなものを発達させたからだ、と教わった。そ ための知能のようなものを発達させたからだ、と教わった。 て、その結果、知能を発達させたからだ、と教わった。 ための知能のようなものを発達させたからだ、と教わった。 ための知能のようなものを発達させたからが、私は小さい頃から何となく、植物、動 ための知能のようなものを発達させたからが、私は小さい頃から何となく、植物、動 ための知能のようなものを発達かっている気がした。 ための知能のようなものを発達かった。 ための知能のようなものを発達ないった。 ための知能のようなものを発達がった。 ための知能のようなものを発達がった。 ための知能のようなものを発達がった。 ための知能のようなものを発達ないった。 ための知能のようなものを発達ないった。 ための知能のようなものを発達ないった。 ためのである。 ためののである。 ためののである。 ためののである。 ためのののののののののののののののののののののののののののののののののののの	シンカしてきたのであるが、この多種多様	ば
 物だけに発達した特性であり、自ら移動できない植物には知能が発植物類は、生産者、動物類はの中では、動物が一番「偉い」という気がしていた。その結果、知能を発達させたからだ、と教わった。 へンな話ではあるのだが、私は小さい頃から何となく、植物、動ための知能のような「処世術」的知能の中では、動物が一番「偉い」という気がしていた。その結果、知能を発達させたからだ、と教わった。 へンな話ではあるのだが、私は小さい頃から何となく、植物、動ための知能のような「処世術」的知能のような「処世術」的知能のような「処世術」的知識を発達させたからだ、と教わった。 へンな話ではあるのだが、私は小さい頃から何となく、植物、動ための知能のようなものを発達さたからだ。 したがって必要がないのである。したがっていたが、私は小さい頃から何となく、植物、動ための知能のようなものを発達さたからだ。 	は、系統的に見ると、大きく植物類、動物類、そして微生物類(菌類)	できない」のではなく、生きていくために、A動物のように動きまわ
 物だけに発達した特性であり、自ら移動できない植物には知能が発植物類は、生産者、動物類はのたいえば、人類が最も立派な脳を持っていたからであり、そしれば、植物が「知能」を持っているのである。 て、その結果、知能を発達させたからだ、と教わった。 て、その結果、知能を発達させたからだ、と教わった。 一般的に、知能は獲物を追ったり、配偶者を求めて動きまわる動 一般的に、知能は獲物を追ったり、配偶者を求めて動きまわる動 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	に分類される。	<u>必要がない</u> のである。したがって、動物のように衝突や摩擦を避ける
物だけに発達した特性であり、自ら移動できない植物には知能が発植物類は"生産者、動物類はして、学校でも、人類が最もシンカした一番「偉く」なったの物の知能のような「処世術」的知ったような気がする。人類がなぜ一番「偉く」なったの物の知能のような「処世術」的知らして、学校でも、人類が最もシンカした一番「偉い」生きものであれば、植物が「知能」を持っている物、微生物の中では、動物が一番「偉い」という気がしていた。そもちろん、植物が持っている気	私は小さい頃から何となく、植物、	
 物だけに発達した特性であり、自ら移動できない植物には知能が発植物類は、生産者、動物類はのといえば、人類が最も立派な脳を持っていたからであり、そしいたいるのである。 して、学校でも、人類が最もシンカした一番「偉い」生きものであれば、植物が「知能」を持っていたのである。 	微生物の中では、動物が一番「偉い」という気がしていた。	植物が持っている!
物だけに発達した特性であり、自ら移動できない植物には知能が発植物類は、生産者、動物類は一一般的に、知能は獲物を追ったり、配偶者を求めて動きまわる動自然生態系の中で、生物類のて、その結果、知能を発達させたからだ、と教わった。 持っているのである。 おもったいえば、人類が最も立派な脳を持っていたからであり、そし必要がないから)、植物は自ら激な、と教わったような気がする。人類がなぜ一番「偉く」なったの物の知能のような「処世術」的	学校でも、人類が最もシンカした一番「偉	植物が「知能」を持っていないとは考えられない。植物は、
物だけに発達した特性であり、自ら移動できない植物には知能が発植物類は"生産者*、動物類は一般的に、知能は獲物を追ったり、配偶者を求めて動きまわる動自然生態系の中で、生物類のて、その結果、知能を発達させたからだ、と教わった。 持っているのである。おといえば、人類が最も立派な脳を持っていたからであり、そし 必要がないから)、植物は自ら激	と教わったような気がする。人類がなぜ一番	の知能のような
物だけに発達した特性であり、自ら移動できない植物には知能が発植物類は〝生産者〟、動物類は一般的に、知能は獲物を追ったり、配偶者を求めて動きまわる動自然生態系の中で、生物類のて、その結果、知能を発達させたからだ、と教わった。	人類が最も立派な脳を持っていたからであり、	ないから)、
物だけに発達した特性であり、自ら移動できない植物には知能が発植物類は〝生産者〟、動物類は一般的に、知能は獲物を追ったり、配偶者を求めて動きまわる動自然生態系の中で、生物類の	て、その結果、	っているのであ
植物類は〝生産者〟、動物類は		生物類の
	物だけに発達した特性であり、自ら移動できない植物には知能が発	物類は、生産者、、

知能を持った動物の方が偉そうに思えるの 「発達しなかった」のだろうか。 知能を持た 産物、 ①不可欠な無機物に還元する ³還元者⁴ である。いずれにせよ、動物 が生きていくためには、 ながら忘れてはならないのが微生物類で、彼らは、すべての生物の生 排出物、 遺体などの有機物を分解して、すべての生命にとって *生産者、である植物と、還元者、である微 ある。 また、 地味な存在

語

満点 時間

一 〇 〇 点

四五~六〇分(学校裁量による)

エネルギーを使って、

植物は、

*光合成、つまり環境から炭酸ガスと水を取り込み、

太陽

自分が生きていくために必要な栄養(、食物、)、